

令和6年度 伊丹市立有岡小学校学校経営方針

1 めざす学校

(1) めざす学校の姿

学校教育目標 **心身ともにたくましく 感性豊かに 主体的に行動できる子**

<方針>

知・徳・体の調和のとれた人格形成をめざし、内在する個人の可能性と個性の伸長を追求し、自ら学び、考え、行動できる心豊かな子どもの育成をめざす

- ① 児童一人ひとりが自己の良さを発揮し、学ぶ喜びを感じることができる学校
- ② 教職員一人ひとりがそれぞれの力を最大限に発揮し、意欲的に働ける学校
- ③ 保護者と「育てたい子どもの姿」を共有し、ともに歩むことができる学校
- ④ 地域とともに、地域の「宝」として子どもを育むことができる学校

(2) めざす子どもの姿

- ① 心身ともにたくましく・・・心身ともに健全で たくましい子
- ② 感性豊かに・・・感性豊かで 思いやりがある子
- ③ 主体的に行動できる子・・・人との関わりの中で 主体的に行動できる子

(3) めざす教師の姿

使命感を持ち、子どもの人格と学力を最大限に伸ばそうと全力を尽くす教師
見えないもの、聞こえない声、知らないことを感じ取ろうとする心を持つ教師

- ① 子どもに対する愛情の深い教師
子ども一人ひとりをしっかり見つめ、寄り添い、良さを引き出せる教師
- ② 真摯に自己研鑽を続ける教師
常に課題意識を持ち、自己研鑽に励み、教育実践を行う教師
- ③ 組織の一員として一丸となって学校教育目標の実現をめざす教師
認め合い、高め合い、チャレンジ精神を活かし、協働できる教師
- ④ 保護者や地域の願いを真摯に受け止め、信頼にこたえる教師

2 重点的に取り組むこと

(1) 学力の向上

- ① すべての子どもに基礎的な力をつけるための取り組み
 - ・組織的な取り組みによる学習規律の徹底
 - ・個に応じた指導の充実（新学習システムの推進）
 - ・めあての設定、振り返りを活かした学習内容の定着
 - ・どの子にもわかりやすく安心して授業に参加できる環境づくり
（授業のユニバーサルデザイン化）
 - ・誰ひとりとりこぼさない基礎学力の定着

- ② 「主体的・対話的で深い学び」の実現のための取り組み
 - ・言語活動の充実により、思考力・判断力・表現力の育成
 - ・ねらいに応じた学習形態の工夫（個人ワーク、ペア学習、グループ学習など）
 - ・体験的な活動や地域の教育資源の活用（教育サポートプログラム）
- ③ 時代に即した学びの実現のための取り組み
 - ・学んだことが生活の場に生きる学習の推進
 - ・タブレット等の教育機器を活用した学習の推進
 - ・プログラミング教育、英語教育等、新しい時代に生きる学びの推進

（２）豊かな心の育成

- ① 支持的風土があり、一人ひとりの居場所がある学級・学年・学校づくり
 - ・自尊感情、自己肯定感を高める声かけや指導の工夫

～がんばったことが認められる学級・学校に～

- ② 人に優しくする心、美しいものに感動する心の育成
 - ・思いやりの心を育むための意図的指導と即時評価
 - ・読書や読み聞かせ活動の充実による感性の醸成
- ③ 人との関わりを大切にする心の育成
 - ・あいさつの励行
 - ・コミュニケーション能力を育む意図的指導と即時評価
 - ・いじめは絶対に見逃さない、許さないことの徹底
- ④ 規範意識の醸成
 - ・全校一致した「基本的な生活ルール」の徹底

（３）健康で安全な生活づくり

- ① 生活習慣の確立
 - ・家庭との連携による「早寝・早起き・朝ご飯」
- ② 自分の健康を考え、進んで体を鍛える児童の育成
 - ・休み時間の活用などによる運動習慣の定着
- ③ 自他の命を大切にする指導の充実
 - ・交通安全指導の充実
 - ・犯罪に巻き込まれない指導の充実（ネットモラルの育成を含む）
 - ・地域の特性をふまえた防災教育の充実（自助と共助意識の醸成）

（４）教職員の業務改善（子どもと向き合う時間の確保）

- ① 「風通しのよい職場」づくり
- ② 週１回の定時退勤日（火曜日）、ノー残業デー（月曜日）の実施
- ③ それぞれの学校行事の意義をふまえた精選
- ④ 資料やデータの電子化およびデータベース化

（５）学校運営協議会の充実

- ① 学校・家庭・地域が「育てたい子どもの姿」の共有
- ② 「社会に開かれた教育課程」による学校、家庭、地域が連携した教育活動（地域の教育資源（有岡校区ならではの歴史や産業）や人材の活用）
- ③ 学校を核とした校区コミュニティの創出